

市 政 報 告

令和 5 年 1 月 27 日

第 1 回市議会臨時会

令和 5 年第 1 回市議会臨時会に当たり、市政の主なものについてご報告申し上げます。

はじめに、「職員の新型コロナウイルス感染」について申し上げます。

令和 4 年 12 月 6 日の市政報告以降から昨日までの間、北海道岩見沢保健所により、本市職員 44 名の感染が確認されました。感染した職員につきましては、業務において市民との接触がないことを確認し、その後、自宅療養等を経て、職場復帰しております。

次に、「新型コロナウイルス感染症に対する本市の対応」について申し上げます。

北海道では、新規感染者数は年末年始に入り減少が続いていましたが、冬休みが終わり生活が通常に切り替わる中、道内は引き続き高い感染レベルにあることから、1 月 13 日の対策本部会議において、今一度、基本的な感染防止行動の徹底について呼びかけるほか、徐々に増加しているオミクロン株亜系統の動向を監視していくこととしています。

市としましては、このような道の動向を踏まえ、引き続き、高い警戒感をもって基本的な感染防止対策の徹底など、必要な対策を図っていくこととしております。

また、本臨時会におきましては、新型コロナウイルス感染症及び世界情勢等の影響によるエネルギー価格の高騰を受け、事業継続に支障が生じている中小事業者及び運送事業者等に対し支援する「びばい事業継続緊急支援金支給事業」に係る補正予算を新たに提案するものであります。

現在、国の総合経済対策及び令和 5 年度予算案を踏まえ、今年度の補正予算と新年度予算を一体として編成作業を進めておりますが、今後とも、市民の皆様が一日でも早く通常の生活や事業活動を取り戻すことができるよう、職員と一丸となって「市民の命と暮らしを守る」対策を切れ目なくしっかりと講じてまいります。

次に、「新型コロナウイルスワクチンの接種」について申し上げます。

令和 4 年 10 月 24 日から開始した「オミクロン株対応 2 価ワクチン」の接種につきましては、接種対象者約 18,000 名のうち、接種要件を満たした 17,188 名に接種券を発送し、順次接種を進めているところであります。

今後とも、接種を希望する全ての市民の皆様が速やかに接種を受けられるよう、美唄市医師会や市内医療機関の皆様のご協力のもと全力で取り組んでまいります。

次に、「美唄市と東川町のパートナー協定締結」について申し上げます。

去る令和4年12月16日、「東川町とのパートナー協定」を締結しました。

この協定の締結により、それぞれのまちの自然、歴史、文化などの地域資源や特性を活かしながら、「人材育成への取組」、「課題解決及び価値創造への取組」、「ネットワークを活用した新たな取組」、「災害等が発生した際の応援」など、双方の連携による取組を推進し、「文化を基軸としたまちづくり」や「食と農のまちづくり」など相互の地域づくりを進めてまいります。

次に、「安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄の地域創造大賞（総務大臣賞）の受賞」について申し上げます。

去る令和5年1月20日、「安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄」が令和4年度 地域創造大賞（総務大臣賞）を受賞し、東京都で表彰式が行われました。

この受賞は、1992年の開設以来、彫刻家、市、住民が一体となり、炭鉱で栄え、衰退していったこの土地の記憶をつなぐ木造校舎・自然・芸術が調和した芸術広場を、「こころのふるさと」として後世に伝える「文化のまちづくり」が高く評価されたものです。

今後は、このたびの受賞を契機として、市民の財産としての公共空間の持つ意味と役割を深めていくため、「思い新たに次なるステップへ」歩みを進めてまいります。

以上、申し上げまして報告を終わります。